

元荒川／大相模調節池 水辺 de ベンチャー計画

テーマ

Fit the Piece of LAKE

越谷市

目的・目指す将来像等

越谷レイクタウンは、治水対策を目的とした調節池建設と新市街地整備を一体的に実施する「レイクタウン整備事業」として昭和63年に事業採択され、平成20年の「まちびらき」以来、多くの住宅や大型の商業施設が建てられてきました。

大相模調節池は大量の水を貯水できる調節池である一方、地域住民の憩いの場や水辺を活かしたイベントを行う場として広く親しまれています。

今後、民間事業者の力も活用し、水辺の整備やイベントの充実などハード・ソフト両面でさらに魅力ある水辺として発信していくことで、交流人口の拡大や経済活性化を図っていきます。

河川空間の利活用イメージ



水辺に面したデッキ・カフェ等



水辺と芝生を活用したイベント



水辺に臨むコミュニティスペース等

計画等への位置付け

■ 第5次越谷市総合振興計画前期基本計画 施策の指標として「水辺のにぎわいに関する新たなプロジェクト創出数」を挙げており、令和7年度までに1プロジェクトの創出を目標としている。

■ 越谷市都市計画マスタープラン（令和3年度改定版）

大相模調節池を含む越谷レイクタウン駅周辺エリアを「観光・交流拠点」に位置づけ、「大相模調節池等の既存ストックを活用するとともに、市民、事業者との連携・協力を図り、魅力ある観光振興や交流の場の創出に努めます」としている。

河川空間の利活用効果

■ 地域内での経済循環効果

大相模調節池の水辺で住民、事業者、団体等が交流し、さらに市外からの観光客も訪れることで、地域内での経済循環が期待できる。

指標	令和元年	令和7年(目標)
観光入込客数(人)	60,454,140	62,000,000

■ レイクタウンのブランド力向上によるエリア価値の高まり
水辺のにぎわいが創出され市内外からのイメージが向上することによって、地域のブランド力が増し、レイクタウンないしは市全体の価値向上が期待できる。

位置図

川の状況

■川の整備状況

北池・南池の周辺には遊歩道（レイクサイドウォーク）が整備され、市民の日常生活のほか、ウォーキング等に利用されている。

北池南側は栈橋や水上ステージ等が整備され、イベントや水上アクティビティ等に活用されている。

法面は芝生が敷設され地域住民の憩いの場となっているが、平面が少なく、規模の大きいイベントの実施や仮設店舗等の設置が困難といった課題がある。

■川の利用状況

「Lake and Peace」や「越谷技博」などのイベントのほか、水辺のアクティビティとして「デインギーパーク」が実施されている。

- ・利用主体：越谷市観光協会、地元企業など
- ・利用の時期、頻度：イベントは年数回。
デインギーパークは春～秋の毎週末
- ・集客数、参加人数：イベントは5,000人程度

川周辺の状況

■交通

東側に国道4号東埼玉道路があるほか、JR武蔵野線越谷レイクタウン駅も徒歩5分程度の場所であり、交通アクセスに恵まれている。

■周辺施設

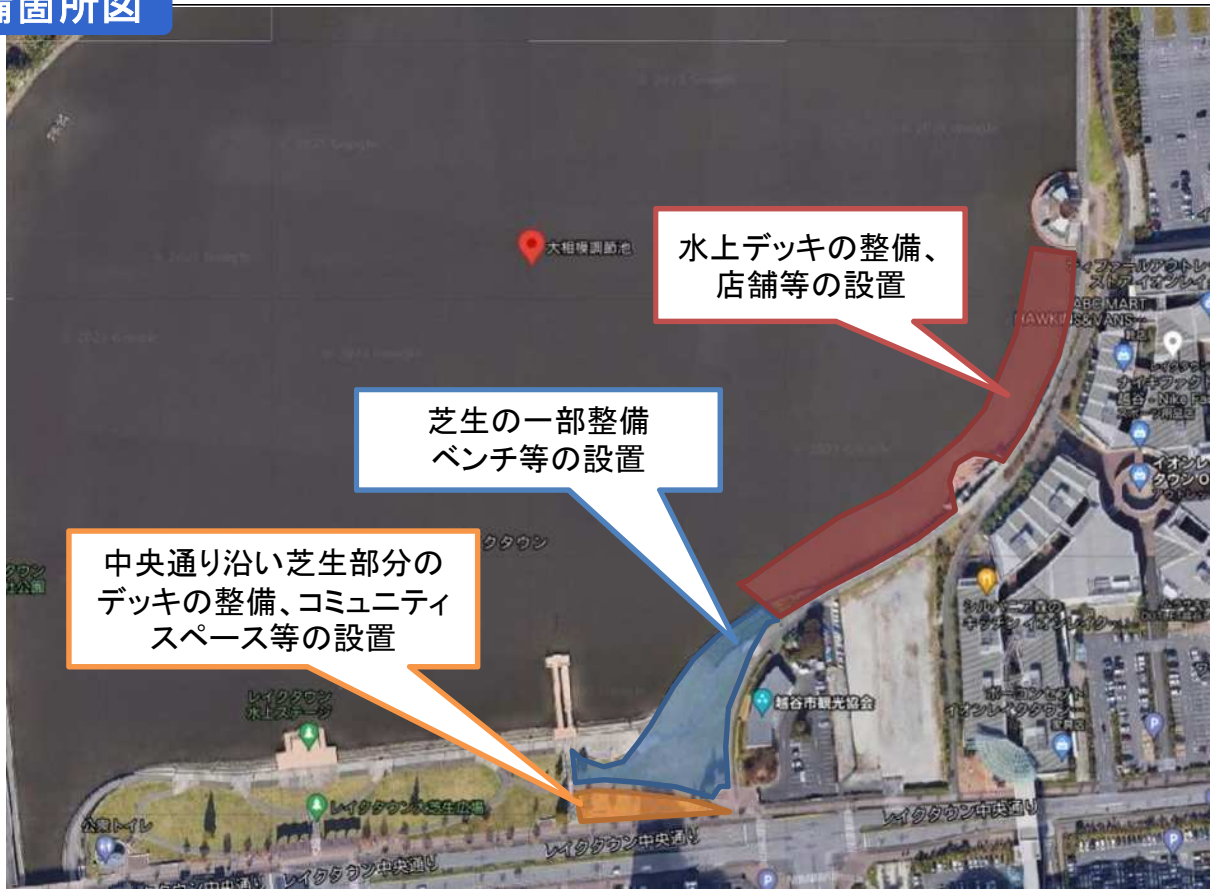
大型商業施設イオンレイクタウンが隣接しているほか、北池の東側には水辺のにぎわいづくりの拠点として越谷市観光協会が入る「水辺のまちづくり館」が立地している。

付近には（仮称）大相模調節池親水公園、レイクタウン湖畔の森公園、見田方遺跡公園などが整備され緑も多い。

■景観

「レイクタウンからの眺め」（富士山、日の出、夕日）や以前実施されていたイベント「こしがやイルミレイク」が「こしがや景観資源」に登録されている。

整備箇所図



想定される整備概要

【埼玉県】

■ ウッドデッキの整備

- ・調節池上に張り出す形状での水上デッキ整備
- ・北池南側の「レイクタウン中央通り」に面した芝生の一部のデッキ整備
- ・法面の一部整備（平面化等）

【民間事業者】

■ 店舗等の整備

- ・デッキ上に設置する店舗やコミュニティスペース等の整備
- ・店舗利用者向けのベンチ等の設置

【越谷市】

■ その他周辺環境の整備（必要に応じて検討）

- イベント等着地型コンテンツの実施実証（整備の進捗にあわせ、実施主体の移行も検討）

工程表・想定事業費

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	想定事業費
計画策定		●	●			—
【埼玉県】デッキ等の整備		●	●	●		200百万円
【民間】店舗等の整備				●	●	未定
【越谷市】その他周辺環境の整備等		●	●	●		未定

から整備完了部分
順次開業

民間事業者等との連携

大相模調節池の水辺空間の活用にあたっては、隣接するイオンレイクタウン（イオンモール株）や「越谷いちごラン」等を主催する株JTБ、自転車メーカーでサイクリングによる地域振興にも取り組む株ホダカ、大手住宅メーカーの中央住宅株など市内の民間事業者との意見交換を実施し、活用方法の参考とした経過がある。民間事業者と連携し、店舗等の運営やイベント等の実施による水辺の商業利用を通じて地域内での経済循環やエリア価値の向上に取り組む。

今後、令和3年度中に選定方法を協議・決定し、事業者の公募・選定を行う。

協議会の体制

- 構成員（予定）
 - ・越谷市
 - 経済振興課、都市計画課、公園緑地課
 - ・県関係
 - 河川環境課、越谷県土整備事務所、東部地域振興センター
 - ・関係団体
 - （一社）越谷市観光協会、越谷商工会議所
 - ・地域住民等
 - 地元自治会および大相模調節池周辺での活動団体（具体的な参加依頼先は検討中）
- 事務局
 - 越谷市 経済振興課

庁内推進体制

- 担当課（役割）
 - 越谷市
 - ・経済振興課
 - 事務局、企画、広報等
 - ・都市計画課
 - 都市計画マスタープランに基づくまちづくりの推進
 - ・公園緑地課
 - （仮称）大相模調節池親水公園の管理等

河川に関する地域の活動

- 株まちづくり越谷（Lake and Peace実行委員会）がLake and Peaceを実施している（年1回）
- （一社）越谷市観光協会が大相模調節池でディンギーパークを開催している（4月～11月）
- 株まちづくり越谷、（一社）越谷市観光協会が共催で「越谷技博」を実施し、アクティビティやキャンプ体験等を行っている（年1回）
- 「レイクタウンランニング」や「越谷いちごラン」などのランニングイベントが行われている（年1回。直近はコロナのため中止）